

文の組み立てをマスターしよう！

① 主語

「誰か(は)」「何が(は)」にあたる文節。

* 私は津幡南中の生徒です。

② 述語

「しつする」「しんなど」「ある・ない」にあたる文節。

* 私は津幡南中の生徒です。

* 私は津幡南中の生徒です。

主語・述語の関係

述語は、普通の文では最後にくる。「倒置」に注意！

③ 修飾語

あとにくる文節をくわしく説明する文節。

* 私は津幡南中の生徒です。

修飾・被修飾の関係

体言(名詞)を修飾するときには**連体修飾語**、用言(動詞・形容詞・形容動詞)を修飾するときには**連用修飾語**になる。

* ^{とんぼ}赤い花が咲いた。(連体修飾語)

* 花が ^{たくさん}咲いた。(連用修飾語)

被修飾語が体言か用言かで判断する！

④ 接続語

理由や条件を示してあとの部分につながる文節。

* ^{寒い(理由)} けれど窓を開ける。

* 寒い。けれど窓を開ける。

このように長いと短いとちががあるのに、文節の単位で考えることが重要！

⑤ 独立語

あとの部分との結びつきが弱い、独立した文節。次の四つの種類がある。

* わあ、きれいな花。(感動)

* はい、わかりました。(応答)

* おーい、返事をして。(呼びかけ)

* 桜、それは春の花だ。(提示)

文を組み立てるときは、文節がはたす役割(主語・述語・修飾語・接続語・独立語)を「文の成分」という。

並立の関係

二つ以上の文節が対等の関係で並んでいること。

* 私と姉は津幡南中の生徒です。

* 好きな給食はカレーとラーメンだ。

姉と私は津幡南中の生徒です。

好きな給食はラーメンとカレーだ。

このように入れかえても意味が変わらない。

補助の関係

下の文節がすぐ上の文節の意味を補つ関係のこと。

* 小説を書いてみる。

「書く」に「やってみる」という意味を補っている。

多くの場合「...と(で)…」の形になる。

〈例〉 咲いている

読んでおく

やってみよう など

文の組み立て 練習問題

解答&解説

1 次の文節ごとの関係が、主語・述語の関係であれば○、そうでなければ×を書きなさい。

1 次の文節ごとの関係が、主語・述語の関係であれば○、そうでなければ×を書きなさい。

- ① 川で泳ぐ。 ()
- ② 教科書とノート。 ()
- ③ 彼こそらわわじい。 ()
- ④ 兄も中学生だ。 ()
- ⑤ 犬が走る。 ()

- ① 川で泳ぐ。 (×)
- ② 教科書とノート。 (×)
- ③ 彼こそらわわじい。 (○)
- ④ 兄も中学生だ。 (○)
- ⑤ 犬が走る。 (○)

2 次の名文の一線の修飾語が連体修飾語ならば A、連用修飾語ならば B を書きなさい。

●解説●
 うが・は以外に「が」「し」「を」「で」「に」が付いている。その場合は「は」や「が」に書きかえられる。
 ③ 彼こそらわわじい。 ④ 兄も中学生だ。

- ① 船がゆつゝのり港に着いた。 ()
- ② 図書館ですてきな本を見つけた。 ()
- ③ 母がカリーを作る。 ()
- ④ 涼しい風が教室に入る。 ()
- ⑤ 妹が赤いくつをはいている。 ()

2 次の名文の一線の修飾語が連体修飾語ならば A、連用修飾語ならば B を書きなさい。

- ① 船がゆつゝのり港に着いた。 (B)
- ② 図書館ですてきな本を見つけた。 (B)
- ③ 母がカリーを作る。 (B)
- ④ 涼しい風が教室に入る。 (A)
- ⑤ 妹が赤いくつをはいている。 (A)

3 次の名文の一線の文節ごとの関係をおしから一つずつ選び記号で答えなさい。

●解説●
 の付いた文節を修飾している。その部分が体言か用言かで判断する。

- ① この花は小さくて美しい。 ()
- ② 私は猫のハムスターを飼っている。 ()
- ③ 選挙では彼女も代表に選ばれた。 ()
- ④ 書類にしっかりとハンコを押す。 ()
- ⑤ 庭の花を見てもらおう。 ()
- ⑥ 母はきのう買い物に行った。 ()
- ⑦ 辞書がカバンの中にある。 ()

3 次の名文の一線の文節ごとの関係をおしから一つずつ選び記号で答えなさい。

- ① この花は小さくて美しい。 (ウ)
- ② 私は猫のハムスターを飼っている。 (ウ)
- ③ 選挙では彼女も代表に選ばれた。 (ア)
- ④ 書類にしっかりとハンコを押す。 (イ)
- ⑤ 庭の花を見てもらおう。 (エ)
- ⑥ 母はきのう買い物に行った。 (イ)
- ⑦ 辞書がカバンの中にある。 (ア)

- ア 主語・述語の関係
- イ 修飾・被修飾の関係
- ウ 並立の関係
- エ 補助の関係